

大阪城公園パークマネジメント事業
平成 29 年度 事業報告書

大阪城パークマネジメント共同事業体

(代表者)

大阪府大阪市中央区大阪城1番1号

大阪城パークマネジメント株式会社

代表取締役 木下 健治

【担当者】



目 次

1. 平成29年度の事業報告についての概要	P 2
2. 成果指標にかかる数値結果等	P 3
3. 平成29年度 収支実績報告書	P 4
4. 大阪城天守閣 平成29年度の報告書	P 8
5. 駐車場 平成29年度の報告書	P 17
6. 大阪城音楽堂 平成29年度の報告書	P 18
7. 大阪城西の丸庭園、迎賓館、豊松庵 平成29年度の報告書	P 20
8. 大阪城野球場 平成29年度の報告書	P 23
9. JO-TERRACE OSAKA 平成29年度の報告書	P 25
10. MIRAIZA OSAKA-JO 平成29年度の報告書	P 27
11. 園内交通システム 平成29年度の報告書	P 30
12. 施設・公園管理 平成29年度の報告書	P 31
13. 緑地管理 平成29年度の報告書	P 35
14. 魅力向上事業の報告書	P 42

1. 平成29年度の事業報告についての概要

PMO事業のスタートから3年目の平成29年度は魅力向上事業における施設整備として大阪城公園駅前に飲食施設やランナーのための便益施設など20店舗からなるJ O-TERRACE OSAKAを6月22日に開業し、12月15日にはレストラン棟として団体での食事もできる飲食施設も開業しました。また、大阪城公園駅からバリアフリーで直結するペDESTリアンデッキも合わせて整備いたしました。そして、本丸内には旧第四師団司令部庁舎を改修整備し、物販や飲食5店舗及び特別史跡大坂城跡の歴史等を紹介する展示室からなるMIRAIZA OSAKA-J Oを10月19日に開業しました。両施設とも公園内の案内などに多言語対応ができるインフォメーションを備え、来園者のお申し出や問い合わせにも対応できるようにしました。

また大阪城公園駅前から大手門を結ぶルート上の石垣や桜門、青屋門などを夜間ライトアップする照明設備も新たに整備し、各施設の運営時間にあわせて夜間の周遊性の向上に取り組みました。

そして、森ノ宮エリアの噴水周りに平成30年度に開業予定のカフェやベーカリーレストラン、児童遊戯施設とあわせて公園内の代表的な植物を集めたボタニカルショーケース、案内所の整備にも着手しました。また、イベントにおいては5月に太陽の広場での「餃子フェス」、6月には東外濠をコースを含む「大阪城トライアスロン」、7、8月には太陽の広場での「大阪城ウォーターパーク」、そして11月～2月にかけては西の丸庭園において「大阪城イルミナージュ」などを開催しました。平成28年度整備した大阪迎賓館や公園内売店（パークローソン）も多くの来園者にご利用いただくことができ、内堀で運行している御座船や櫓の公開事業も利用者数が伸びており、多くの方々に楽しんでいただいております。

成果指標における数値結果においては、天守閣の入場者数が平成29年度は275万人を超え、3年連続過去最高を更新することができ、西の丸庭園や豊松庵においても平成28年度実績を大きく上回ることができました。これらとあわせ、新たな施設整備による収益増などで変動納付金は34,901,143円となり、前年度比で約27%増加しました。また、天守閣及び公園全体の満足度調査においては、どちらも84%を超える満足度となり、ほぼ計画数値の85%に近い結果を頂きましたが、引き続きより高い満足度を得られるよう努めていきます。

3年を経過して公園管理において培った経験を活かしつつ、新たに整備した施設を活用し、公園の魅力向上と来園者の周遊性向上を図るための仕掛けづくりを行っていくとともに、これからもより多くの来園者にご満足いただける公園管理を行っていきます。

2. 成果指標にかかる数値結果等

(1) 大阪城天守閣の入場者数

年間入場者数 **2,754,395 人** (計画数値：237 万人)

(2) 大阪城公園本丸エリアへの来園者数 (推計)

年間来園者数 **578 万人**(推計) (計画数値：498 万人)

(天守閣の入場者数×2.1 倍、平成 28 年度実施の動向調査による推計)

(3) 大阪城公園への来園者数(推計)

年間来場者数 **1,339 万人** (計画数値：1,152 万人)

(天守閣の入場者数×4.86 倍、同上)

(4) 大阪城野球場、大阪城西の丸庭園、豊松庵、大阪城音楽堂の利用者(件)数

大阪城野球場：年間利用件数 **1,006 件** (計画数値：800 件)

大阪城西の丸庭園：年間有料入園者数 **464,817 名** (計画数値：300,000 人)

豊松庵：年間利用件数 **123 件** (計画数値：70 件)

大阪城音楽堂：年間利用件数 **95 件** (計画数値：100 件)

(5) 大阪城公園利用者への満足度調査結果

※平成29年10月27日(金)11月11日(土)～12日(日)実施の動向調査による。

(非常に満足、まあまあ満足、普通、あまり満足でない、不満足の5段階評価)

天守閣 満足度 (非常に満足、まあまあ満足) **84.1%** (計画数値：85%)

公園全体満足度 (同 上) **84.4%** (計画数値：85%)

(6) 大阪市への納付金額

基本納付金 226,000,000 円

変動納付金 34,901,143 円 (計画 16,253,000 円)

3. 平成29年度 収支実績報告書 (単位: 円、消費税抜額)

事業名	事業全体
-----	------

項目		平成29年度
	大阪城公園利用収益(野球場、売店、園地等)	290,274.421
	西の丸庭園、豊松庵、迎賓館	154,722.056
	駐車場	336,987.236
	JO-TERRACE OSAKA	185,741.581
	もと博物館(維持管理)	0
	MIRAZA OSAKA~JO	112,863.348
	大阪城天守閣	1,387,890.002
	大阪城音楽堂	39,632.940
(1)売上高		2,508,111.584
	大阪城公園維持管理	0
	大阪城公園利用収益(野球場、売店、園地等)	0
	西の丸庭園、豊松庵、迎賓館	0
	駐車場	0
	JO-TERRACE OSAKA	650.809
	もと博物館(維持管理)	0
	MIRAZA OSAKA~JO	0
	大阪城天守閣	1,448.407
	大阪城音楽堂	7,093.770
(2)売上原価		9,192.986
(3)売上原価益((1)-(2))		2,498,918.598
	大阪城公園維持管理	353,837.407
	大阪城公園利用収益(野球場、売店、園地等)	73,365.354
	西の丸庭園、豊松庵、迎賓館	53,917.200
	駐車場	56,322.250
	JO-TERRACE OSAKA	149,463.722
	もと博物館(維持管理)	4,664.300
	MIRAZA OSAKA~JO	103,026.030
	大阪城天守閣	533,852.727
	大阪城音楽堂	47,848.030
	パ・センター共通費(修繕費240千円含む)	19,959.848
	共通人件費	65,017.055
	租税公課	25,814.450
	保険料(総合賠償責任等)	5,454.580
	減価償却費	1,226.229
	その他	21,382.268
(4)共通経費		138,854.430
(4)販売費及び一般管理費		1,515,151.450
(5)営業損益((3)-(4))		983,767.148
	営業外収益(個別事業計)	5,835.132
	営業外収益・特別利益(共通)	202.678
①営業外収益 小計		6,037.810
	営業外費用(個別事業計)	2,436.900
	営業外費用・特別損失(共通)	415.496
②営業外費用 小計		2,852.396
(6)営業外損益 総計(①-②)		3,185.414
(7)税引前当年度損益((5)+(6)-(10))		726,051.419
(8)法人税、住民税、事業税、その他公租公課(見做し額)		227,463.661
(9)当年度損益((7)-(8))		498,587.758
	基本納付金	226,000.000
	変動納付金	34,901.143
(10)大阪市への納付金		260,901.143
(11)前年度繰越利益剰余金(前年度の(12))		623,456.270
(12)当年度繰越利益剰余金((9)+(11))		1,122,044.028

個別 事業名	大阪城公園維持管理
-----------	-----------

項目		平成29年度
(1)売上高		0
(2)売上原価		0
(3)売上原価益((1)-(2))		0
管理委託費等	276,593,400	
水道光熱費	44,369,755	
通信費	672,282	
備品費	524,633	
消耗品費	963,001	
修繕費	8,536,150	
保守維持費	6,509,000	
雑費(メンテナンス植替え関連費)	900,000	
改修費	10,600,000	
減価償却費	3,884,996	
その他	284,190	
(4)販売費及び一般管理費	353,837,407	
(5)営業損益((3)-(4))	-353,837,407	
①営業外収益　小計		0
支払利息(リース会計)	284,156	
②営業外費用　小計	284,156	
(6)営業外損益　総計(①-②)	-284,156	
(7)当年度損益((5)+(6))	-354,121,563	

個別事業名	大阪城公園利用収益(野球場、売店、園地等)
-------	-----------------------

項目		平成29年度
野球場	利用料	3,697,275
重要文化財(檜等)公開事業		46,179,462
売店施設	使用料	112,165,296
自動販売機	販売手数料	73,656,690
露店・ケータリング等	園地使用料等	31,747,053
行為許可	手数料	6,161,489
御座船・園内交通	運営手数料等	16,379,554
パークセンター内設備	使用料	287,602
その他		0
(1)売上高		290,274,421
		0
(2)売上原価		0
(3)売上原価益((1)-(2))		290,274,421
野球場	直接費(修繕改修除く)	2,675,002
重要文化財(檜等)公開事業	直接費	48,296,537
管理委託費等		3,838,680
水道光熱費		974,031
修繕費	野球場	394,800
修繕費	売店・自販機	51,750
修繕費	御座船・園内交通	172,000
諸手数料(大阪市占用料等)		14,226,426
雑費(ウォーターパーク関連作業費)		778,467
改修費	(野球場)	1,400,000
減価償却費	(分電盤)	54,897
その他		502,764
(4)販売費及び一般管理費		73,365,354
(5)営業損益((3)-(4))		216,909,067
①営業外収益	小計	0
②営業外費用	小計	0
(6)営業外損益 総計(①-②)		0
(7)当年度損益((5)+(6))		216,909,067

個別 事業名	西の丸庭園、豊松庵、迎賓館
-----------	---------------

項目	平成29年度
西の丸庭園 運営事業	92,786,348
豊松庵 使用料等	3,687,330
迎賓館 運営事業(レストラン)	57,807,710
迎賓館 運営事業(黄金茶室7おサービス)	440,668
その他	0
(1)売上高	154,722,056
(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)－(2))	154,722,056
広告宣伝費	1,056,456
管理委託費等	37,336,870
水道光熱費	6,371,294
備品費	124,871
消耗品費・事務用品費	644,676
修繕費	587,775
諸手数料(大阪周遊バス手数料等)	6,197,395
改修費	0
減価償却費	1,433,081
その他	164,780
(4)販売費及び一般管理費	53,917,200
(5)営業損益((3)－(4))	100,804,856
雑収入(芝生損傷補償金)	200,000
①営業外収益 小計	200,000
②営業外費用 小計	0
(6)営業外損益 総計(①－②)	200,000
(7)当年度損益((5)+(6))	101,004,856

個別 事業名	駐車場
-----------	-----

項目	平成29年度
城南バス 駐車場	231,695,840
大阪城公園駅前 普通車駐車場	105,291,396
その他	0
(1)売上高	336,987,236
(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)－(2))	336,987,236
管理委託費等	44,939,223
水道光熱費	313,690
備品費	0
修繕費	285,000
保守維持費	546,000
諸手数料(クレジット決裁手数料)	777,828
保険料	327,970
改修費	0
減価償却費	9,100,321
その他	32,218
(4)販売費及び一般管理費	56,322,250
(5)営業損益((3)－(4))	280,664,986
①営業外収益 小計	0
支払利息(リース会計)	526,663
②営業外費用 小計	526,663
(6)営業外損益 総計(①－②)	-526,663
(7)当年度損益((5)+(6))	280,138,323

個別 事業名	JO- TERRACE OSAKA
-----------	-------------------

項目	平成29年度
JOテラスⅠ オフィシャルショップ	15,444,330
JOテラスⅠ 再委託 使用料等	145,837,575
JOテラスⅡ(キャッスルガーデン)再委託 使用料等	24,459,676
その他	0
(1)売上高	185,741,581
JOテラスⅠ オフィシャルショップ	650,809
その他	0
(2)売上原価	650,809
(3)売上原価益((1)－(2))	185,090,772
広告宣伝費	11,251,780
雇用人件費	13,975,060
管理委託費等	60,042,659
水道光熱費	0
通信費	795,828
備品費	13,932,130
消耗品費・事務用品費	5,600,733
修繕費	1,100,000
保守維持費	489,200
諸手数料(店舗運営者成約報酬他)	3,007,144
賃借料(レンタル料)	163,780
雑費(廃棄物処理費等)	798,093
改修費	5,550,000
減価償却費	31,986,124
その他	771,191
(4)販売費及び一般管理費	149,463,722
(5)営業損益((3)－(4))	35,627,050
雑収入(遅延損害金)	126,074
オープン経費負担金(店舗から徴収)	2,904,120
①営業外収益 小計	3,030,194
雑損失	21,930
支払利息(リース会計)	269,938
②営業外費用 小計	291,868
(6)営業外損益 総計(①－②)	2,738,326
(7)当年度損益((5)+(6))	38,365,376

個別 事業名	MIRAIZA OSAKA-JO		
項目			平成29年度
ミライザ	再委託	使用料等	112,863,348
その他			0
(1)売上高			112,863,348
その他			0
(2)売上原価			0
(3)売上原価益((1)－(2))			112,863,348
広告宣伝費			9,292,054
雇用人件費			2,265,292
管理委託費等			31,770,658
水道光熱費			4,957,921
通信費			678,387
備品費			7,173,362
消耗品費・事務用品費			2,534,846
修繕費			0
保守維持費			18,223
諸手数料(店舗運営者成約報酬他)			12,655,468
賃借料(レンタル料)			241,337
雑費(廃棄物処理費等)			4,191,760
改修費			3,400,000
減価償却費			3,330,885
減価償却費(寄付償却容認分)			20,349,155
その他			146,682
4)販売費及び一般管理費			103,026,030
(5)営業損益((3)－(4))			9,837,318
		オープン経費負担金(店舗から徴収)	2,597,530
①営業外収益	小計		2,597,530
②営業外費用 小計			0
(6)営業外損益 総計(①－②)			2,597,530
(7)当年度損益((5)＋(6))			12,434,848

個別 事業名	もと博物館(維持管理)
(1)売上高	0
(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)-(2))	0
管理委託費(警備費)	4,537,000
水道光熱費	126,900
租税公課(印紙税)	400
その他	0
(4)販売費及び一般管理費	4,664,300
(5)営業損益((3)-(4))	-4,664,300
①営業外収益 小計	0
②営業外費用 小計	0
(6)営業外損益 総計(①-②)	0
(7)当年度損益((5)+(6))	-4,664,300

[illegible]

個別 事業名	大阪城音楽堂
-----------	--------

項目	平成29年度
音楽堂 利用料	31,405,374
音楽堂 自動販売機設置使用料	207,915
主催ライブ興行	8,019,651
その他	0
(1)売上高	39,632,940
主催ライブ興行	7,093,770
(2)売上原価	7,093,770
(3)売上原価益((1)-(2))	32,539,170
雇用人件費	4,517,572
派遣人件費	4,864,294
管理委託費等	19,837,000
水道光熱費	4,106,484
通信費	16,381
備品費	279,266
消耗品費・事務用品費	232,997
修繕費	878,850
改修費	10,654,000
減価償却費	2,282,375
その他	178,811
(4)販売費及び一般管理費	47,848,030
(5)営業損益((3)-(4))	-15,308,860
雑収入(コンサート損壊補償費)	7,408
①営業外収益 小計	7,408
②営業外費用 小計	0
(6)営業外損益 総計(①-②)	7,408
(7)当年度損益((5)+(6))	-15,301,452

4. 大阪城天守閣 平成29年度の報告書

昭和6年に大阪市民の寄付によって復興された大阪城天守閣は、大阪はもとより日本の文化観光のシンボルという特徴を備えた歴史博物館である。

平成29年(2017年)は、慶応3年(1867年)10月の大政奉還から150年の節目の年であることから、「幕末・維新150年～江戸幕府最後の牙城、大坂城」のキャッチコピーで、関連する公共・民間諸団体とも連携しながらイベント等様々な手法で大阪城の魅力を訴求した。秋には特別展「幕末大坂城と徳川将軍」を開催した。さらに季節ごとの様々なイベントなどを展開し、これらへの集客を促進するため、幅広い情報提供や広報宣伝にも力を入れた。

その結果、平成29年度は、アジア地域を中心とした訪日外国人観光客も引き続き増加していることも影響し、前年度(平成28年度)に記録した入館者最高記録の2,557,394人をさらに197千人上回る2,754,395人の入館者を迎え、年度入館者数の最高記録を3年連続で更新した。

1. 資料の収集、保管事業

本年度は、「金札段替二枚胴具足(伝木下利房所用)」、「豊臣秀次画像」、「摂津国伊丹宛禁制」など12件の購入、「金箔押菊文飾瓦片(伏見城跡出土)」など5件の寄付があったほか、「羽柴秀吉書状9月10日付」の修理をおこなった。高い資料的価値と展示効果を有するこれらの資料を収集する学芸員の業務に協力した。

2. 展示事業

① 企画展示

2ヶ月を目途に文化財展示を全面的に更新し、そのつど3階・4階のフロアごと、新しいテーマの展示を立案した。「幕末・維新150年」にあわせて、どちらかのフロアが関連展示となるよう工夫した。

本年度は、「戦国の世を生きた男たち」、「幕末・維新を生きた人々」「いくさの装い変遷史」「集まれ!豊臣ファミリー」「秀吉いろいろ」「大阪城天守閣収蔵の名画」「描かれた幕末・明治の世相―風刺画と開化絵―」の計7本の企画展示を実施し、夏の展示「豊臣から徳川へと……」では、受贈した豊臣秀吉の愛刀(復元)を初公開した。26年から5年連続で、正月イベントにあわせたミニ展示「ちょろけん登場!」を行った。

② 特別展

「幕末大坂城と徳川将軍」

(平成29年10月7日～11月26日)

今年と来年は、徳川慶喜による大政奉還の表明、王政復古の発令による新政府発足、新政府軍と旧幕府軍による内戦「戊辰戦争」の勃発という、明治維新の一連の大変革から

ちょうど 150 年にあたる。そこで本展では幕末の大坂城に光をあてることとし、14 代将軍家茂、最後の将軍慶喜が何度も訪れた頃の大坂城の姿、彼らの大坂城を舞台とした活動を紹介。武家政権の最終章における大坂城の存在を浮き彫りにした。期間中(51 日間)の入館者は 396,367 人(1 日平均 7,771 人)の盛況であった。

③ テーマ展

「桃山の TAKUMI—意匠・技巧・工匠—」(平成 29 年 3 月 18 日～5 月 7 日)

戦国乱世から泰平の世へ日本の歴史が大転換した 16 世紀の中葉から 17 世紀の初頭にかけて、明るく開放的、けんらん豪華、斬新でエネルギッシュな桃山文化が花開いた。匠(工匠や画工)たちが、競ってたくみ(意匠や技巧)を凝らした。

本展では大阪城天守閣が収蔵する絵画や蒔絵調度、染織工芸品、武具などのうちから、桃山美術の優品を展示。期間中(51 日間うち前年 14 日間)の入館者は 465,860 人(1 日平均約 9,134 人)となり、盛況であった。

「浮世絵師が描いた乱世」(平成 30 年 3 月 17 日～ 5 月 6 日)

幕末から明治期にかけて、戦国武将たちや合戦を主題とした武者絵が浮世絵師によって多く描かれた。それらは多色刷りの木版画、すなわち錦絵のかたちで出版され、おおいに庶民の人気を博した。本展では大阪城天守閣の収蔵品のなかから、色鮮やかで躍動感あふれる武者絵の数々を紹介した。平成 29 年度中(15 日間)の入館者は、150,267 人(1 日平均約 10,017 人)となり、盛況であった。

3. 調査・研究事業

学芸員が実施する調査研究活動について側面的な協力を行った。

4. 教育・普及事業

- ① 収蔵品や関連資料の写真を作成管理し、公共機関や研究者、出版・放送関係機関等からの掲載や複製作成、商品化の要望に応じ積極的に提供することで、資料の普及に努めた。写真資料の提供数は 642 件 1,618 点におよんだ。
また、天守閣所蔵の主要写真 440 点のデジタルデータ化を行った。
- ② 他の博物館施設等からの文化財貸出依頼に対する出品や、展覧会の企画や展示指導等に関する特別協力依頼に応じた。
- ③ 展覧会図録、名品絵はがき等を作成し、頒布した。また、平成 29 年度に OPEN した大阪城公園内施設(JO-TERRACE OSAKA、MIRAIZA OSAKA-JO)で「大阪城 史跡探訪」頒布を開始。
- ④ 館内に兜・陣羽織・小袖のレプリカ試着体験コーナーを設け、希望者(年間を通じて 4 万 1 千人)に体験の機会を提供した。

5. 学校や市民・各種団体等との連携に関する事業

① 学校や各種団体等との連携事業

- ・「第46回大阪城絵画展」（平成30年1月2日～1月31日）
大阪の将来を担う幼稚園児・小学生・中学生が大阪城を大阪の誇りに思い、憩いの場としてより一層親しむと同時に、大阪の歴史・文化についての理解を深めることができるよう、大阪市内の市立幼稚園、小・中学校と連携し、大阪城の絵画を募集して入選作品を展示した。（応募作品数1,401点、うち入選作品数48点）
- ・大阪市営地下鉄、西日本旅客鉄道㈱、大阪水上バス等交通機関との連携による入場割引、企画チケットの取扱いを実施した。
- ・地域・市民団体や企業、大阪城公園内および周辺イベント（大阪シティウオーク2017、KANSAIウオーク2017、大阪城サマーフェスティバル2017他）と連携し、企画協力や相互広報・相互入場割引などを実施した。
- ・「太閤なにわの夢募金」への協力
自主事業イベント「真田丸」から幕末・維新へ～大阪城ファミリーフェスティバル2017～5/3～5/5、「大阪城・ブルターニュ大公城友好城郭提携記念 幕末150年フェスティバル」11/3～11/4において、PRブースを提供した。また、実行委員会事務局運営に当年度より参加し、主に出納業務を行った。

② 地域との連携

- ・中央区民まつりに協賛・広告掲載するなどより多くの集客に努めた。
- ・大阪義士会「大阪義士会子ども四十七士」表敬訪問受入（平成29年12月10日）

③ 他の博物館等との連携

- ・博物館学実習として7月24日から28日の5日間にわたって、6校から9名の大学生を、また、中学生の職場体験は3校から9名の受入を行った。
- ・姉妹城・友好城郭連携事業
大坂城本丸御殿で徳川慶喜とフランス公使レオン・ロッシュが公式会見して150年にあたる平成29年、フランス・ナント市のブルターニュ大公城と新たに友好城郭提携を結んだ。館内に姉妹城・友好城郭の解説パネルを新設した。
- ・全国城郭管理者協議会への参加、および加盟城との協力連携
〔城のしおり（1,428冊販売）〕
「熊本城災害復旧支援金」の募金活動や、熊本城内で販売されていた図録「よみがえる熊本城」の販売協力を行った。（159冊販売。継続中）
- ・日本博物館協会・関西博物館連盟への参加、および加盟館との協力連携
- ・大阪歴史博物館との連携
〔天守閣・歴博セット入券（約48千枚販売）〕
- ・他の博物館、大学、学校、学会その他国内外の関係機関との協力連携
博物館協会キャンパスメンバーズへの参画（4校 計1,335名利用）等

6. 情報発信、広報宣伝

国外の観光客が増加する中、大阪を代表する文化・観光施設にふさわしい特別展、テーマ展及びイベント等を実施するとともに、ホームページ(訪問者数 119 万件/年・ページビュー数 354 万件/年)・ポスター・チラシ・リーフレット(日本語、韓国語、中国繁体字、中国簡体字、英語の各言語別及び子ども向け)・マスメディア等をとおして、幅広い効果的な情報発信・広報宣伝を行うことにより、集客力の向上に努めた。

取材受入れは 72 件、大阪市を通じての報道発表は 15 件、観光雑誌等の刊行物への天守閣情報の掲載(写真提供および記事校正) 256 件実施した。また、新たな取り組みとしては、「幕末・維新 150 年」キャンペーンとして、大阪市営地下鉄とのタイアップポスターの掲出、地下鉄駅構内のデジタルサイネージ広告枠の 4 月～9 月内の空きスペースを活用し広報を行った。

7. 施設の維持管理

改札・案内・警備・清掃・昇降機の運転業務を業務委託により実施するとともに設備等の定期的な保守点検を実施し安全で快適な施設の維持管理に努めた。

また、以下の改修や設備更新を実施した。

- ・ 3 階、4 階ウォータークーラーの更新 (H29 年 8 月 各 1 台) …改修費
- ・ 天守閣受変電設備継電器更新 (H29 年 12 月) …改修費
- ・ 空調加湿器更新 (H29 年 5 台、H30.1 月 1 台、H30.3 月 7 台) …改修費
- ・ 空調ダンパー操作器 7 台取替 (H29 年 12 月) …修繕費
- ・ 8F 展望室扉緩衝ゴム取替 (H30 年 3 月) …修繕費
- ・ 2 階トイレリモコン更新 (H29 年 7 月 10 個) …修繕費
- ・ 天守閣ガラス展示ブース柱塗装作業 (H30 年 3 月) …修繕費
- ・ 大阪城内展示ケースパッキング交換作業 (H29 年 11 月) …修繕費
- ・ 2 階トイレハンドドライヤー 2 台更新 (H30 年 3 月) …備品費
- ・ 自動体外除細動器 (AED) 1 台更新 (H29 年 11 月) …備品費
- ・ 5 階武将サイネージ メディアプレーヤー 2 台更新 (H30 年 3 月) …備品費
- ・ 天守閣特別清掃 (H29 年 12 月、H30 年 2 月階段) …保守維持費

8. 大阪城天守閣ミュージアムショップの運営

大阪城天守閣ミュージアムショップは、2015 年から廃止していたショップでの酒類販売を再開し大阪城限定モデル「CYOYA 梅酒」の販売を開始。また、毎月売店会議を開催し、効率の良い運営及び経費削減に努めるとともに、ホームページを活用し、季節ごとの売れ筋商品を紹介する等広報活動を充実させ収入確保に努めた。その他、以下のオリジナル商品等の販売やイベント出店等を実施した。

① オリジナル商品

- ・ 「真田幸村ブックマーク」 5/22 より販売(1000 個) 10/29 完売

- ・「一億人達成記念 手ぬぐい」 9/18 より販売(160 枚)
 - ・「一億人達成記念 扇子」 9/18 より販売(115 本)
 - ・大阪城限定モデル「CYOYA 梅酒」 1/2 より販売 (47 本)
- ② イベント出店
- ・イベント出店:大阪城ファミリーフェスティバル 2017/5/3～5/5 (売上 438 千円)
 - ・イベント出店:「幕末 150 年フェスティバル」 2017/11/3～11/4 (売上 308 千円)
 - ・迎春イベントにて一億人達成記念グッズを販売 2018/1/2-1/3 (売上 38 千円)
- ③ ガシャポン販売
- ・新コレクション「戦国甲冑大全 参」@400 2017/10/5 販売開始
- ④ メダル作成機 2018/3/6 四か国語対応の新機種に変更。

9. その他

(1) 特別な取り組みや対応

①「幕末・維新 150 年」キャンペーン

平成 29 年 (2017) と平成 30 年 (2018) は、慶応 3 年 (1867) の大政奉還・王政復古の大号令、翌年の戊辰戦争勃発という、幕末から明治への転換期から 150 年の節目にあたることから、この両年を「幕末・維新 150 年」の記念イヤーと位置づけ、平成 28 年 12 月 22 日 (木) より「幕末・維新 150 年」キャンペーンを開始した。

四季のイベントや展示といった定例行事を「幕末・維新 150 年」のテーマで行い、新規事業として大阪城内や周辺の幕末・維新ゆかりの地をめぐるツアーを実施した。また、特設ホームページを開設したほか、街歩きの一助となるオリジナルの「幕末・維新 150 年大阪ゆかりの地マップ」を作成、各所へ配布し、好評を得て増刷を重ねた。

② 入館者 1 億人達成記念セレモニー

昭和 6 年 11 月の開館以来入館者数が累計 1 億人に達し、9 月 18 日 (月・祝) に記念セレモニーを実施した。くす玉の開披や 1 億人目の来館者である大阪市城東区在住の男性への認定証と記念品の贈呈を行い、1 億人目以降の来館者先着 10,000 名には、昭和 6 年 11 月の大阪城天守閣開館を記念して大阪市の発行した絵はがきの復刻版となる「入館者 1 億人達成記念ポストカードセット」を贈った。また、9 月 19 日 (火) より、大阪城を象徴する品々を絵柄にあしらった記念グッズ (日本手ぬぐいと扇子) の販売を開始した。

新聞 5 紙、テレビ (ニュース) 5 局のほか、ネットニュースや地域情報紙にも掲載され、大きな注目を集めた。

③「熊本城災害復旧支援金」の募金活動を継続しており、当年度の集金実績は 425,570 円であった。(熊本市の当該口座への送金は、4/1～11/30 の集金 388,407 円を 12/15 に実施、12/1～3/31 の集金 37,163 円は 5/11 に実施済) 平成 28 年 4 月 29 日より平成 30 年 3 月 31 日までの累計集金は 1,297,738 円となった。

④ 爆破予告等に対応するため警察 (警備係・国際テロ対策本部) 協力の下、不審者追尾・不

審物搜索を含む避難誘導訓練を実施した。(平成 29 年 11 月 16 日実施)

また、警察による護身術の受講および水消火器を使用した自主消防訓練も同日実施。

- ⑤ 台風（暴風警報）による臨時休館を実施（8/7・9/17 13:00 閉館、10/22 13:30 閉館）
- ⑥ 外国人と思われる男性から「爆破予告」とも受け取れる不審電話に対し、館内の不審物搜索を即時実施、翌日に警察への通報も行った。（8/19 入電、8/20 通報）

(2) 来館者サービスの向上

- ① 身体障がい者や高齢者等社会的弱者など、さまざまな人々がより安全に利用できるよう、設備等の定期的な保守点検を実施し安全で快適な施設の維持管理に努めた。
- ② 改札・インフォメーションにおける外国語対応及び音声ガイドコンテンツの拡充（40 点×4 か国語）ならびにリーフレット内の地図情報（公園内新施設情報・Wi-Fi 情報等）の更新、文化財展示解説など 204 点の外国語表記や館内放送の多言語化に取り組み、館内案内の充実を図った。
- ③ 入館者の増加(混雑)対策及び観覧者マナーの改善策
館内の混雑や観覧マナーの乱れによる不快感への対策として、券売所や階段・エレベーターへの誘導員、館内巡視員の増員体制は継続し、新たに 2 階試着体験コーナーに写真撮影スタッフを増員し、快適で安全な観覧環境の確保に努めた。
- ④ 個人情報の開示・訂正・利用停止などの手続き専用ダイヤルを設置(10/24 開設)、および「お客さまの個人情報のお取り扱いについて」の周知文書を改札・インフォメーション・1F ミュージアムショップ・東事務所の 4 箇所に設置。
- ⑤ 改札から天守閣内への階段通路にドライ型ミストを設置（平成 29 年 7/1～9/30）
- ⑥ 閣内用車椅子 1 台増設し計 7 台を設置（改札×3 台、1 階インフォメーション×2 台、2 階救護室・5 階インフォメーションに各 1 台設置）

(3) 利用者満足度の把握・利用促進策

- ① 満足度調査の実施
大阪城天守閣入館者を対象に団体客・個人客の発地や大阪城の認知度、情報源、満足度などの来場者調査を実施（平成 29 年 10 月 27 日、11 月 11 日～11 月 12 日）
- ② 苦情への対応等
各担当で受けた苦情や要望等をメールや連絡会議等を通じ常に情報共有し、改善に役立った。
- ③ 施設利用促進への反映
大阪のシンボルである大阪城天守閣に、国内外から利用促進・誘致宣伝策として、次の事業を行った。
 - ・大阪城公園で開催されるイベントとの連携
10月にOPENしたMIRAIZA OSAKA-JO の展示室にて特別史跡に指定されている「大坂城跡」の

歴史や史跡内の見どころをご紹介。また、MIRAIZA OSAKA-JOのOPENにともない2時間の開館延長を実施（平成29年10月19日～10月22日 ※最終日は台風のため13：30閉館）〔4日間計 23,588人入場（うち開館延長利用者885人）〕

- ・季節に応じた自主事業によるイベント開催
- ・大阪市営地下鉄、大阪水上バス等交通機関との連携による入場割引、企画チケットの取扱い実施
- ・「大坂城の櫓」重要文化財内部特別公開において、天守閣・櫓とのセット入場券の販売〔平成29年度の天守閣・櫓セット販売数は約33千枚販売〕
- ・旅行会社等との観光券やクーポンの取り扱い契約やオプションサービス企画への参画による集客促進
- ・大阪城天守閣開催事業のプレスリリースや大阪市・区ほか関係団体の情報発信媒体、観光雑誌等への情報提供、交通機関等と連携した広報・宣伝
- ・ホームページの随時更新によるイベント・展示等の情報発信
- ・諸団体実施の内外へのプロモーションへの参加や提携
- ・大阪周遊パス、西日本旅客鉄道㈱が企画する「JR-WEST RAIL PASS」、京阪電気鉄道㈱が企画する「KYOTO-OSAKA SIGHTSEEING PASS」への参画等によるインバウンド誘致〔大阪周遊パスの入館者 789,305人（前年比 19.2%増）〕

(4) 自主事業

天守閣やその周辺に来られた方々が、大阪城や大阪の歴史・文化を身近に感じていただけるようなイベントを季節ごとに開催し、大阪城の魅力を高めるとともに集客に努めた。また、「幕末・維新 150 年」を周知するイベントも実施した。

① 季節ごとの集客イベント

- 「真田丸」から幕末・維新へ～大阪城ファミリーフェスティバル 2017～
（平成 29 年 5 月 3 日～5 月 5 日）参加者：約 5,000 人（3 日間合計）
火縄銃演武（大阪城鉄砲隊）、神楽演舞（榊流大町神楽・水戸大神楽・亀田大神楽）
和太鼓演奏（大阪府立芥川高等学校和太鼓部）、プレミアムトークショー（松平定知氏）、
ゆかりの地魅力展（奥州白石・羽州由利本荘・信州上田・大阪城天守閣ミュージアム
ショップ）
- 「豊国踊りでええじゃないか」（平成 29 年 8 月 12 日）参加者：約 600 人
豊国踊り実演（宝塚歌劇 OG・OSK 日本歌劇 OG、協力：大阪市日本民謡協会）、放下芸（豊
来家一輝）、トークショー〔林幸治郎（東西屋代表）、北川央（大阪城天守閣館長）〕、
- 「大阪城・ブルターニュ大公城友好城郭提携記念 幕末 150 年フェスティバル」
（平成 29 年 11 月 3 日～11 月 4 日）参加者：約 3,900 人（2 日間合計）
上山市無形文化財上山藩鼓笛楽（上山藩鼓笛楽保存会）、祝典歌劇「出会いの宴（うた

げ) ～150 年の時を越えて～」〔鳴海じゅん・麻樹ゆめみ(元宝塚歌劇団)、沙月梨乃(元 OSK 日本歌劇団)〕、能「土蜘蛛」(山本能楽堂)、諏訪流放鷹術(NPO 法人日本放鷹協会)

d. 「迎春イベント～ちょろけんと迎えるお正月～」

(平成 30 年 1 月 2 日～1 月 3 日) 参加者: 18,935 人(2 日間合計)

ちょろけん登場(東西屋)、大神楽曲芸の披露(豊来家一輝)大阪城天守閣特製

「御札」(くじ付き)の頒布とオリジナルグッズのプレゼント

② 「幕末・維新 150 年」関連主催イベント

a. 大阪城天守閣学芸員とめぐる“江戸幕府最後の牙城、大坂城”ツアー

(平成 29 年 4 月 22 日) 参加者: 57 人

大阪城公園内に残るその時代の痕跡を天守閣学芸員が重要文化財の櫓を中心に案内。

〔多聞櫓・千貫櫓・焰硝蔵・乾櫓・大手門・本丸広場(本丸御殿跡)〕

b. “江戸幕府最後の牙城、大坂城”学芸員とめぐる慶喜の大坂城脱出ツアー～ランチ・

セミナー&クルーズ～〔大阪水上バス株式会社との共催〕

(平成 30 年 2 月 24 日) 参加者: 49 人

「MIRAIZA OSAKA-JO」(旧陸軍第四師団司令部庁舎)内のレストランでランチと大阪城天守閣学芸員によるセミナーののち、大阪水上バスが運航する「アクアライナー」に乗船し、最後の将軍徳川慶喜が大坂城を脱出した時の経路をたどる。

〔大阪城、八軒家浜～土佐堀川～川口～堂島川～大阪城港〕

③ 兜・陣羽織・小袖の試着体験記念の写真撮影をさらに充実

平成 29 年度 4 月 1 日より写真撮影スタッフ(文教スタジオ)を常駐。試着体験料金(500 円/回)にて、従来の試着体験に加え登城証明書として文教スタジオのカメラで撮影したカードサイズの写真を 1 枚無償提供。また、希望の方には大阪城の歴史解説を入れた台紙つき写真を別途販売(写真背景には大坂夏の陣図屏風を合成)。

また、秀吉兜に合わせて羽織る陣羽織を大人サイズと子供サイズを各着、人気の高い色(桃色)の小袖を 2 着新調し衣裳の充実にも努めた。

大阪城天守閣 月別入場者数(前年対比)

年度	当事業年度 平成29年度(2017)			前事業年度 平成28年度(2016)			前事業年度比 (増減数及び増減率)			
区分	有料人数	無料人数	合計	有料 人数	無料 人数	合計	有料 人数	無料 人数	合計	率
4月	222,772	36,567	259,339	202,562	34,186	236,748	20,210	2,381	22,591	9.5%
5月	200,405	43,362	243,767	176,124	43,628	219,752	24,281	-266	24,015	10.9%
6月	176,330	23,028	199,358	157,969	20,847	178,816	18,361	2,181	20,542	11.5%
7月	201,071	27,218	228,289	184,547	27,204	211,751	16,524	14	16,538	7.8%
8月	224,674	47,507	272,181	213,577	47,724	261,301	11,097	-217	10,880	4.2%
9月	174,168	18,767	192,935	167,891	17,927	185,818	6,277	840	7,117	3.8%
10月	202,083	35,867	237,950	193,440	36,798	230,238	8,643	-931	7,712	3.3%
11月	206,234	31,739	237,973	183,321	30,259	213,580	22,913	1,480	24,393	11.4%
12月	170,367	21,582	191,949	150,583	22,525	173,108	19,784	-943	18,841	10.9%
1月	189,087	24,888	213,975	177,713	26,874	204,587	11,374	-1,986	9,388	4.6%
2月	194,021	22,608	216,629	180,336	20,873	201,209	13,685	1,735	15,420	7.7%
3月	221,913	38,137	260,050	205,731	34,755	240,486	16,182	3,382	19,564	8.1%
合計	2,383,125	371,270	2,754,395	2,193,794	363,600	2,557,394	189,331	7,670	197,001	7.7%

5. 駐車場 平成29年度の報告書

普通車駐車場は大阪城公園駅前に6月に開業したJ O-TERRACE OSAKAの影響もあり、前年台数比で205%の大幅な伸びとなりました。バス駐車場においては年度前半は台数が減少傾向で観光客の個人旅行化が進む現状を反映した状況となっておりますが、年度後半は昨年度比で台数増加の傾向がみられました。

平成29年度駐車場利用状況

消費税別（単位：円）

	普通車台 数	売上金額	バス台数	売上金額
平成29年4月	11,593	12,108,703	9,923	25,637,962
〃 5月	9,825	11,675,370	7,305	18,477,325
〃 6月	8,411	8,366,435	7,296	17,795,370
〃 7月	8,885	7,751,944	8,149	18,686,111
〃 8月	12,382	12,389,537	7,475	16,807,870
〃 9月	11,462	7,863,333	7,013	16,775,000
〃 10月	7,451	7,248,287	8,692	20,631,018
〃 11月	10,233	9,579,953	8,722	21,734,722
〃 12月	6,921	6,218,194	7,110	16,535,185
平成30年1月	6,467	5,258,102	6,676	15,468,981
〃 2月	6,567	5,607,916	8,040	19,296,759
〃 3月	14,177	11,223,611	9,284	23,849,537
合 計	114,374	105,291,396	95,685	231,695,840

6.大阪城音楽堂平成29年度の報告書

大阪城音楽堂は広く市民に開放された音楽イベント施設として、平成29年度も下記のようにご利用いただきました。ただ、野外という特性上、12月から3月までの利用に関しては、気温が低いと楽器を演奏することが難しいこともあり利用が少ないのは例年通りです。そのため、冬場の閑散期の利用促進に向け、市内の学校やダンススクールへの働きかけを行いダンス発表会の誘致をしました。その結果、1件の新規利用が実現しました。また、雨天時の予備日を予めセットで予約できるようにし、中止リスクを軽減することで平日利用の促進策を実施しました。

平成29年度大阪城音楽堂利用回数

	音楽堂利用回数 (準備・撤収含む)	音楽堂 利用コマ数	リハーサル室 利用回数(音楽堂 利用者含む)	リハーサル室 利用コマ数	音楽堂来場者数
平成29年4月	11 回	22 コマ	18 回	27 コマ	10,620 人
" 5月	9 回	17 コマ	14 回	22 コマ	10,500 人
" 6月	8 回	16 コマ	13 回	20 コマ	9,400 人
" 7月	15 回	30 コマ	21 回	33 コマ	24,980 人
" 8月	17 回	32 コマ	28 回	42 コマ	15,968 人
" 9月	13 回	26 コマ	23 回	34 コマ	15,000 人
" 10月	9 回	16 コマ	23 回	30 コマ	7,700 人
" 11月	6 回	10 コマ	12 回	16 コマ	4,500 人
" 12月	1 回	1 コマ	6 回	6 コマ	0 人
平成30年1月	0 回	0 コマ	0 回	0 コマ	0 人
" 2月	2 回	2 コマ	3 回	3 コマ	0 人
" 3月	4 回	7 コマ	10 回	13 コマ	5,230 人
合 計	95 回	179 コマ	171 回	246 コマ	103,898 人

*利用コマ数は、日中1コマ、夜間1コマとし、同じ団体が終日利用した場合、2コマとして計算しています。

主催イベントの実施

デビュー40周年を迎える世良公則のスペシャルライブを読売テレビと共同主催で実施、多くのゲストアーティストも参加、満席となり収支は942,000円のプラスとなりました。

「世良公則デビュー40周年記念スペシャルライブ～REBORN タダイヌバシ 大阪野音～」

10月14日（土）開場16：00 開演17：00 観客2300人（座席1800、芝生500人）

出演 世良公則、野村義男、NAOTO、押尾コータロー、つるの剛士、宮田和弥、斉藤和義、
吉川晃司、ほか

音楽堂設備増強と更新

昭和57年にできた施設で完成から30年以上経過しているため、一部で老朽更新と事故防止のため施設改修及び修繕を実施しました。

- 1） 入場門の受付扉開閉が困難になり修繕しました。
- 2） 植栽の成長により避雷針の撤去と移設を行いました。
- 3） トイレの美化及び利便性の向上を目的として、大便器（計16ヶ所）の和式から洋式への更新工事を実施しました。また、これに合わせてトイレ屋上の防水改修工事についても実施しました。

上記費用について

- 1）～3）の工事については、平成29年度において10,654,000(税抜)円の費用を計上しました。

今後の改修予定

光回線やWi-Fi環境などインターネットへの対応は、イベント主催側、観客側両方にとっての魅力向上と利便性と捉え検討していく予定です。

今後の課題

冬場閑散期の利用促進を含め、音楽堂の利用方法の可能性は今後も探って行きます。

また、老朽化の進む音楽堂の敷地や排水溝の水はけ問題、搬入口の門扉、スタッフ用のトイレの洋式化など施設としての利便性も引き続き検討していきたいと思います。

7. 大阪城西の丸庭園、迎賓館、豊松庵 平成29年度の報告書

大阪城西の丸庭園は大阪城公園の中でも歴史文化財を有する整備された有料庭園として、また市民の憩いの場として、今年度も数多くの市民の方にご利用いただきました。まだ西の丸庭園を訪れたことの無い方に来園していただく為、数多くの魅力向上事業を計画・実施し、平成29年度下記のようにご来場いただきました。また、大阪迎賓館は、平成28年5月から予約専用のレストランとして事業を開始、好調なスタートを切り、認知度も高まり西の丸庭園の新たな魅力となりました。豊松庵の活用に関しては大阪迎賓館利用者にお茶会をご案内し、利用者の拡大につなりました。

また、今後の目標としては西の丸庭園では今までにない上質で和や歴史を感じさせるイベントへのチャレンジ、豊松庵については茶婚式含めて新たなそしてもっとオープンな使い方の提案、大阪迎賓館については公園内に3会場結婚式やパーティーができる場所ができたことで、競合ではなく連携して囲い込めるような施策を打ち出して行きたいと考えております。

平成29年度大阪城西の丸庭園・豊松庵利用状況

月		西の丸庭園	豊松庵
平成 29 年	4 月	101,143 人	11 回
	5 月	40,658 人	12 回
	6 月	25,381 人	9 回
	7 月	26,316 人	14 回
	8 月	37,368 人	12 回
	9 月	19,990 人	10 回
	10 月	40,018 人	10 回
	11 月	30,831 人	10 回
	12 月	7,152 人	11 回
平成 30 年	1 月	5,351 人	6 回
	2 月	112,410 人	8 回
	3 月	93,184 人	10 回
合計		539,802 人	123 回

平成 29 年度実施 西の丸庭園 集客事業

※PMO 主催事業

・観桜ナイトー2017	4 月 1 日～4 月 16 日	76,037 人	
・黄金の茶室	4 月 1 日～3 月 31 日	1,157 件	
・謎解きゲーム	4 月 28 日～8 月 31 日:4928 人 10 月 21 日～3 月 31 日:7318 人	12,246 人	
・櫓特別公開	4 月 1～3 月 31 日	128,736 人	※12 月～2 月休館
・西の丸庭園フェイスペイント	4 月 1 日～4 月 16 日 (うち 13 日間)	144 人	
・国際ヨガ DAY 応援ヨガイベント	6 月 11 日	200 人	
・大阪城ナイト YOGA	8 月 26 日	48 人	
・レキシコンサート	10 月 1 日	11,431 人	
・大阪城イルミネーション	11 月 22 日～2 月 25 日	102,759 人	
・SAKURA YOGA	3 月 25 日	561 人	
・観桜ナイトー2018	3 月 24 日～3 月 31 日	65,590 人	

※その他団体による事業

・ハウスファミリーウォーク	5 月 14 日	2,520 人	
---------------	----------	---------	--

※迎賓館利用者

※見学・打合せ入園含む	4 月 1 日～3 月 31 日	20,654 人	
-------------	------------------	----------	--

平成 29 年度大阪城西の丸庭園、豊松庵、収入

項目	区分		積算内訳		合計金額	
					税込	税抜
西の丸庭園 運営事業	入園料 収入	・一般(有料)	29,197 人	5,752,000 円	5,325,933 円	
		・企画・イベント(有 料)	352,737 人	63,378,725 円	58,684,016 円	
		・周遊パス	62,229 人	26,230,747 円	24,287,733 円	
		・迎賓館利用者収入	20,654 人	3,707,135 円	3,432,532 円	
	合計		464,817 人	99,068,607 円	91,730,214 円	
	観桜ナイター露店出店料			1,116,524 円	1,033,819 円	
	観桜ナイターフェイスイベント出店 料			24,100 円	22,315 円	
	西の丸運営事業 合計			100,209,231 円	92,786,348 円	
豊松庵	使用料(空調使用料含む)		123 件	3,982,300 円	3,687,330 円	
無料休憩所	黄金の茶室フォトサービス		1,157 件	475,910 円	440,668 円	
大阪迎賓館	使用料※施設整備協力金含む		377 件	20,062 人	62,432,322 円	57,807,710 円
合計					167,099,763 円	154,722,056 円

平成 29 年度大阪迎賓館売上げ実績

	件数	人数	売上(税抜)
4月	47件	2,822名	¥74,246,644
5月	39件	1,876名	¥87,479,031
6月	36件	1,931名	¥72,514,081
7月	34件	1,736名	¥75,743,640
8月	25件	1,140名	¥56,330,256
9月	28件	1,691名	¥81,280,432
10月	29件	1,603名	¥76,833,169
11月	34件	1,735名	¥69,373,443
12月	34件	1,620名	¥72,682,726
1月	18件	878名	¥43,175,586
2月	25件	1,156名	¥54,748,867
3月	28件	1,874名	¥68,044,857
合計	377件	20,062名	¥832,452,732

8. 大阪城野球場 平成29年度の報告書

大阪城野球場は、市民に親しまれた野球施設として、平成29年度も多くの利用をいただきました。

(別紙参照)

予約窓口業務

大阪市が運営する会員制の施設予約システム(オーパスシステム)上で利用予約と、料金の支払いが完結しますが、会員でなくても大阪市に住む人や、市内の事業所に勤める人は利用可能であり、その人たち向けの窓口業務を行っています。平成29年度は、一般利用件数(1006件)のうち、窓口直接受け付けは(212件)で、およそ21.1%となっています。

使用状況の確認

窓口と野球場が離れているため、使用確認については、園内施設を巡回するスタッフが、適宜目視で使用確認をしています。降雨の場合、キャンセルせずに使用されていないケースも見受けられます。また、照明設備は夜間の予約がある場合に自動点灯しますが、降雨が予想される場合は、予約者に電話し、使用するかどうかの確認を行っています。キャンセルの場合は、オーパスシステムで予約データを消さないと、利用者がいないのに照明が点灯し、無駄な電力を消費してしまいます。

球場整備業務

外野の芝生の管理と育成、内野のグラウンド整備、照明塔の点検が必要と思われる場合には、事前にオーパスシステムに整備と入力し、予約不可能とした上で、整備を行っています。また、JO-TERRACE OSAKA に設置した監視カメラで野球場内を確認できるようになりました。

今後の課題

設備については老朽化の進行具合を注視しながら、今後も、定期点検を怠らず、オーバーホールについても見極めたいと考えています。

＜過去の利用状況との比較＞

	平成 28 年度			平成 29 年度		
	一般利用	整備・工事	小計	一般利用	整備・工事	小計
4 月	82	5	87	98	8	106
5 月	117	9	126	116	30	146
6 月	63	0	63	85	0	85
7 月	92	7	99	119	8	127
8 月	83	0	83	97	7	104
9 月	110	5	115	110	7	117
10 月	92	0	92	60	0	60
11 月	85	0	85	90	0	90
12 月	49	0	49	59	10	69
1 月	39	5	44	39	0	39
2 月	48	0	48	54	0	54
3 月	86	0	86	79	0	79
合計	946	31	977	1006	70	1076

* オープスシステムサーバのデータでは、同じグループの連続使用が判別できない為、利用数は利用コマ数となっています。

9. JO-TERRACE OSAKA 平成29年度の報告書

大阪城公園駅前整備が整い、便益施設として平成29年6月22日に飲食店舗16店舗 物販店舗2店舗 ランナーサポート施設1店舗（平成28年度にパークローソンオープン済み）合計20店舗、6つの建物で構成する施設が開業しました。同時にJR大阪城公園の駅より施設へ直結するペDESTリアンデッキも開通し、公園内の案内など来園者の問い合わせなどに多言語で対応することのできる総合インフォメーションも施設内に併設されました。また平成29年12月15日には団体での食事にも対応可能なレストラン棟が開業し、合計7つの建物で構成するJO-TERRACE OSAKA が誕生しました。合わせて園内移動交通システムのロードトレインが当初の計画通り、JO-TERRACE OSAKA に乗り入れました。

平成29年度の店舗売上・施設利用者数は下記の通りです。

平成29年度 JO-TERRACE OSAKA 売上・利用状況

	売上（円）	利用者数（人）	備考
平成29年6月	51,826,588	41,962	営業日数9日間
平成29年7月	164,582,514	128,978	
平成29年8月	158,878,317	130,748	
平成29年9月	119,807,404	98,943	
平成29年10月	118,106,656	96,260	
平成29年11月	142,791,964	120,346	
平成29年12月	135,893,356	94,100	レストラン棟運営開始
平成30年1月	127,000,392	80,125	
平成30年2月	147,437,137	87,496	
平成30年3月	240,888,900	136,648	
平成29年度合計	1,407,213,228	1,015,606	

※利用者数は各店舗レシート客数になります。

JO-TERRACE OSAKA 運営状況と課題

施設利用状況としては、週末や休日・大阪城ホールイベント開催日・太陽の広場イベント開催日を中心に利用者が増加します。しかし何もイベントが開催されない日との差が激しく、店舗運営においてスタッフ人員の調整がむずかしい様です。また、夜間の時間帯の利用者が少ない傾向にあり、営業時間の変更要望もありました。これは、オープン前に想定していた観光客（外国人旅行者含む）の方の利用や近隣オフィス街の方の利用が取り込めていないことが原因と考えられます。総合インフォメーションの利用状況からも、圧倒的に日本人の方の利用が多く、日本人8：

外国人 2 の割合です。まだまだ外国人旅行客の周遊性が少ない状況です。近隣オフィス街向けには割引やキャンペーンの案内について OBP 協議会を通じて行い、観光客向けには旅行会社との提携を今後、進めていきたいと思っています。

ペDESTリアンデッキについては、車椅子の方、ベビーカー利用の方からは利用しやすくなったと好評価をいただいています。結果として、障がい者施設や高齢者介護施設等の方から施設利用の問い合わせが増加しました。

施設運営上の課題としては、①イベント時等施設混雑時にトイレ待ちの長蛇の列が、施設共用部トイレ・施設に隣接する公衆トイレ両方で発生し、施設通行の障害等が発生していること、②喫煙スペース設置の要望が、店舗及び施設利用者から多数あげられていること③ごみ箱設置について、現店舗のうち半数以上がテイクアウト商品を販売しており、実施店舗にはごみ箱の設置をお願いしていますが、十分にまかなえている状況ではないことがあります。ごみ箱については、公園施設として設置の有無を検討しています。

平成 29 年度 JO-TERRACE OSAKA 収入

関係店舗	項目	金額（円）
JO-TERRACE OSAKA（A～F テラス）18 店舗	使用料等	145,837,575
JO-TERRACE OSAKA（G テラス）1 店舗	使用料等	24,459,676
直営オフィシャルショップ	売上原価益	15,444,330
収入合計		185,741,581

10. MIRAIZA OSAKA-JO 平成29年度の報告書

旧第四師団司令部庁舎は、耐震補強等を行い、新たな複合施設「MIRAIZA OSAKA-JO」として10月に開業いたしました。1階にカフェとお土産物ショップ、2階3階にレストランを構えて、さらに3月からは眺望の美しい屋上テラス・レストランをオープンしました。

また、玄関口に観光情報を発信するインフォメーションを設置し、1階南端には大阪城公園の歴史を解説した展示エリアを設けて、本丸エリアを訪れる人々に対する情報提供の場としても機能するよう考慮しました。

①レストラン&カフェ

1階には、喫茶・軽食を提供するカフェと、たこ焼きをメインにした飲食店を配置しました。季節に合わせたメニューを打ち出し、気軽にご利用いただける憩いの場を提供しています。

2、3階には、近代建築を生かしモダンな内装の中で、ランチやディナーをお楽しみいただくレストランを配置しました。オープン以来、来園者の昼食から、宴会や結婚式、各種パーティなどにもお使いいただき、ご好評を得ています。

屋上には、天守閣を臨むテラス・レストランを設置し、オープンから約1カ月は無料開放を行った上で、3月からは季節限定でバーベキューのできるテラス・レストランの運営を開始しました。ここでは、日本随一のキャッスルビューを楽しみながら食事ができ、各種メディアにも大きく取り上げられ、予約客を中心に多くの方々にご利用いただくことが出来ました。

②お土産物販売

本丸エリア西側にあった売店「大阪城・本陣」を本施設の1階に移設し、「本陣」「忍屋」という2店舗にして運営を始めました。

大阪城ならではのグッズから、大阪らしいお土産物、日本の心を伝える和雑貨、世界的な人気を集めるクールジャパン・キャラクター雑貨、伝統和菓子や工芸品など幅広く取りそろえ、海外からの観光客にも十分に楽しんでいただける店舗を目指しています。

また、1F展示室に掲示している大阪城公園の名所の絵葉書や天守閣作成のガイドマップなども販売し、ご好評をいただきました。

一方、本丸広場から本施設正面玄関に向かうエリアには、ベンチやパラソル、テラス席を配置していることもあって、天守閣など本丸エリアを訪れた人々が憩う場所になっています。ここでは、桜の季節にMIRAIZA OSAKA-JOのショップによる簡易なワゴン販売を実施し、さらなる賑わいを創出しました。

③インフォメーション

1Fロビーの観光インフォメーションでは、大阪城公園の情報はじめとし、大阪観光のお手伝いもできるよう幅広い情報を提供するようにいたしました。天守閣のインフォメーションやJ

オー TERRACE、パークセンターとも連携し、公園内の回遊性の向上を図るとともに、旅行者にとっての「旅のコンシェルジュ」となることを目指しています。

④歴史情報等の発信

1 F 南端に設置した展示室「特別史跡・大坂城跡」は、大阪城公園の歴史と公園各所の見どころを解説・展示したエリアで、オープン以来、多くの来場者の方にご覧いただいています。また、公園各所の見どころを掲載した「大阪城公園・見どころマップ」の無料配布が好評で、インフォメーションにマップを求めて来られる方も徐々に増えております。

今後の事業展開

まず、地階に、2つの体験施設を整備してまいります。

1つは「侍・忍者体験」です。大阪市内ですでに外国人観光客を中心に人気を博している「日本殺陣道協会」による「殺陣」の体験を、天守閣の目の前にある本施設の中で展開します。着物の着付けから始まり、刀の持ち方、振り方の指導を経て、最後にはチャンバラの体験まで出来るという、まさに日本文化を丸ごと体験できる施設で、多くの外国人観光客にアピールできるものを目指します。

もう1つは、古今東西のマジック、トリック、イリュージョンを一堂に集めた「イリュージョン・ミュージアム」です。先ごろ開催されたマジック界のアカデミー賞とも言われる「マーリン・アワード」を、日本人として20年ぶりに受賞したメイガス氏の監修のもと、言語に左右されず「見ただけで楽しい」イリュージョンの数々について天守閣の貯蔵品も一部使用した展示を行い、マジックの歴史なども学習できます。最後には実演コーナーも用意し、年齢や出身国を問わずどなたでも楽しめる博物館を構築します。

また、施設、設備の良好な維持管理を遂行して参ります。専門技術者による日常点検、専門業者による法定点検、定期点検等により、不具合の発生を未然に防止し、常に正常に稼動するよう努めます。清掃については、来館者が快適に利用できるよう、常に施設を清潔・衛生的に保持するとともに館内外の美観保持に努めます。建物の維持・保全については、歴史的建造物であることを踏まえた上で、日常的に点検・監視し、ひび割れ、建具等のがたつきなどの前兆の発見に努め、早期に対応します。また、改修等を要するもの、その恐れのあるものを発見したときは、市主管課へ 早急に報告・相談し、その措置について協議していきます。

今後の課題等

施設の重厚な構えから、一見して利便施設であることが認識しづらく、動線上やや敬遠されがちなところがあり、積極的に来客誘導を図っていくことが必要ではないかと考えています。施設の景観や本丸内に相応しい賑わいづくりを建物前面で行い、施設への来客誘導を図っていくことを今後行っていきたいと思います。また、屋上についてもバーベキューレストランとしてだけでなく、カフェなど他の利用方法も模索しながら天守閣を借景にした眺望をより生かすことのでき

る活用を行っていきたいと思います。

平成29年度 ミライザ大阪城 各店舗売上 および PMO収入

(単位：千円 税別)

月	物販 (本陣・忍屋)	軽食 (タリーズ・利休)	レストラン (TLO)	ウェディング バンケット	PMO 収入
10	20,617	3,742	8,226	320	8,439
11	49,899	10,784	20,540	62,472	19,754
12	54,737	9,503	24,921	36,259	20,034
1	54,524	9,471	13,384	32,290	20,031
2	53,027	10,076	14,752	60,003	19,845
3	73,677	17,010	48,280	83,876	24,406
合計	306,481	60,586	130,102	275,220	112,509

1 1. 園内交通システムの運行について

園内交通システムは昨年度に引き続き、来園者の利便性と周遊性向上のためロードトレインとエレクトリックカーでの運行を行いました。来園者の増加と認知度の向上、ロードトレインの車両増加等により、ご利用者が大幅に増加しました。

園内交通システム 平成29年度実績

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数
森ノ宮駅	3,594,200	13,802	3,041,600	10,660	3,059,700	9,023	4,491,000	12,993	6,770,900	19,660	4,973,400	14,403
大阪城公園駅	506,700	2,052	634,000	2,257	618,000	1,933	1,170,600	3,561	1,280,000	3,761	1,074,100	3,246
極楽橋駅	1,649,200	6,627	1,707,300	6,373	1,477,100	5,152	2,027,700	7,223	2,733,200	9,724	2,183,300	7,675
桜門駅	1,436,400	5,874	1,028,200	4,031	486,100	1,817	806,900	3,003	1,249,500	4,686	716,700	2,682
小計	7,186,500	28,355	6,411,100	22,678	5,640,900	17,925	8,496,200	25,902	12,033,600	37,043	8,947,500	28,006
エレック1号	0	0	0	0	0	0	0	0	12,800	76	-4,100	39
Jクラシック1号	1,133,810	6,700	1,287,500	7,064	1,283,900	7,218	1,678,050	9,106	1,855,600	10,251	1,391,100	7,752
Jクラシック2号	715,950	4,296	780,400	4,793	606,500	3,420	565,645	3,485	786,200	4,741	512,600	2,884
小計	1,849,760	10,996	2,067,900	11,857	1,890,400	10,638	2,243,695	12,591	2,654,600	15,068	1,899,600	10,675
合計	9,036,260	39,351	8,479,000	34,535	7,531,300	28,563	10,739,895	38,493	14,688,200	52,111	10,847,100	38,681

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数
森ノ宮駅	5,293,100	15,283	3,914,500	12,361	5,231,400	15,183	5,052,900	14,370	5,737,800	16,556	7,007,200	22,773
大阪城公園駅	968,700	2,909	875,700	3,237	441,900	1,457	476,600	1,482	682,200	2,234	1,286,200	4,945
極楽橋駅	2,206,500	7,708	1,771,200	6,585	1,693,600	6,074	1,735,600	6,176	2,166,900	7,958	3,149,900	12,482
桜門駅	753,900	2,673	592,000	2,510	536,400	2,083	376,600	1,450	476,800	1,931	1,174,600	5,140
小計	9,222,200	27,781	7,153,400	24,693	7,903,300	24,797	7,641,700	23,478	9,063,700	28,679	12,617,900	45,340
エレック1号	0	0	946,600	5,462	1,118,000	6,363	1,025,200	5,709	1,039,300	5,843	1,709,200	10,074
Jクラシック1号	1,424,600	8,043	810,400	4,759	783,300	4,503	818,000	4,580	814,650	4,609	1,059,700	6,134
Jクラシック2号	784,000	4,482	156,800	927	0	0	0	0	277,500	1,560	404,500	2,378
小計	2,208,600	12,525	1,913,800	11,148	1,901,300	10,866	1,843,200	10,289	2,131,450	12,012	3,173,400	18,586
合計	11,430,800	40,306	9,067,200	35,841	9,804,600	35,663	9,484,900	33,767	11,195,150	40,691	15,791,300	63,926

	合計	
	金額	人数
森ノ宮駅	58,167,700	177,067
大阪城公園駅	10,014,700	33,074
極楽橋駅	24,501,500	89,757
桜門駅	9,634,100	37,880
小計	102,318,000	337,778
エレック1号	5,847,000	33,566
Jクラシック1号	14,340,610	80,719
Jクラシック2号	5,590,095	32,966
小計	25,777,705	147,251
合計	128,095,705	485,029

課題等

運行車両が増加したこともあり、来園者からトレインやエレクトリックカーの走行に対する苦情も出ており、事故防止の観点からも歩車分離等の検討も必要であると感じております。まず、森ノ宮噴水～青屋門にかけての歩道の舗装化による歩車分離化を行っていく予定です。また、狭小場所に対しては警備員の配置なども検討していく予定です。加えて駅スタッフの接遇向上にも努め、園内交通システムの利用者及び来園者とのコミュニケーションの向上も図っていききたいと思います。

1 2. 施設・公園管理 平成29年度の報告書

平成29年度は昨年度の状況を踏まえ、公園利用者の利便性・安全性の向上を目指し、日々の業務に取り組みました。また、JO-TERRACE OSAKA、MIRAIZA OSAKA-JOの開業により公園施設が増えましたが、既存施設の作業スケジュールの見直し等を行い、計画どおり実施しました。今後も日常点検や定期点検の際に発見した不具合箇所をもとに、大阪市公共施設マネジメント基本方針に準じた修繕を実施致します。

年間・月間作業実績

関係法令等を遵守し、作成した年間・月間維持管理計画に基づいて実施いたしました（資料1）。昨年度の実績を参考に年間・月間作業計画を作成し、毎月大阪市に報告・承認を得たうえで実施してまいりました。平成30年度も今年度の状況を踏まえ、公園利用者の安全を最優先に関係各所と調整して作業計画を作成します。

日常点検及び定期点検

公園利用者の安全を確保するため、日々の管理業務と併せて巡視を実施し、施設及び設備の不具合箇所や不適正利用の早期発見に努めました。公園管理車両は国内外からの公園利用者に十分注意し、園内走行中のパトライト点滅・放送及び最徐行での走行を徹底しましたが、11月に城内詰所内にてトラックに積載したバックホーのアームで架空電気ケーブルを引っ掛け、落下させる物損事故を発生させてしまいました。再発防止に向け、園内での安全運転・安全作業を徹底して参ります。園内便所清掃に関しては、増加する公園利用者に対応するため、便所清掃の回数を最大で1日4回まで増やして対応を図るとともに、定期的に清掃状況の品質確認・指導を行うことで品質向上に努めました。また、利用者が特に多い城南便所においては特別清掃を実施し、美化に努めました。便所の使用方法等に関しては多言語での案内を行い、利用者のマナー向上の啓発を行いました。また、ボランティア清掃等市民との協働による公園管理の推進にも努めました。

園内巡回は公園内を大きく3つのエリアに分割して実施し、不適切な公園利用を行っている者（釣り、スケートボード、自転車等の危険行為、騒音、公園内ビラまき、無許可営業行為、他の公園利用に迷惑となるような長時間占用行為等）及び明らかにその恐れがあると認められる者を発見した際には直ちに制止して、適正かつ安全な利用を行うよう指導しました。現場に駆け付ける際には不適切な公園利用の早期発見に努めるため、園内をグリッド状に再分割して該当エリアを伝達しやすくなるように工夫しました。不適切な公園利用が発生した際には、公園利用者への呼び掛けや注意喚起の看板の設置、ホームページ上での啓発を実施することで抑止に努めました。特に、公園利用者の多い休日にも園内巡回を実施することで公園利用者のマナー向上に貢献しました。

事件・事故が発生した際には適切かつ迅速に対応し現場の保存と被害の拡大防止に努めると

ともに、大阪市に即時に報告して情報共有を図りました。また、園内巡回のルートや時間帯を定期的に見直すことで事件・事故の未然防止に努めました。

定期点検に関しては年 2 回実施し、報告書を大阪市へ提出するとともに、点検時に発見した不具合箇所を大阪市と共有しました。

放置自転車・ホームレス対策

公園内における放置自転車対策として、エフの取り付けや啓発看板の設置を行い、年間で 90 台の放置自転車を園内移動・保管し、大阪市に報告しました。園内走行の自転車に関しては、幸い平成 29 年度も無事故でしたが、ロードトレイン・エレクトリックカーの走行箇所は接触事故の可能性も高まりますので、平成 30 年度は走行可能なエリアを限定する等、公園利用者に安心して過ごしていただけるような環境の構築を検討します。

ホームレス対策としては、小屋掛けなどによる不法占用行為がないよう、毎日園内巡回を行いました。また、移動型ホームレス等に対しては、公園内で起居をさせないよう定期的に聴聞を行うとともに、大阪市に随時報告を行いました。

「公園猫適正管理推進サポーター制度」にかかる対応ほか

公園猫適正管理推進サポーターからの報告書等の提出があった場合は受付を行い、大阪市へ適切に引き継ぎました。動物の愛護及び管理に関する法律に基づき動物の遺棄・虐待・身勝手な給餌行為（置き餌、撒き餌など）の取り締まりを行うとともに、これらの行為を行わせないよう注意喚起を行い、公園利用者への啓発に努めました。

バーベキュー対策

バーベキュー区域は前年度と同様に指定し、平成 29 年春は、全域無料で実施しました。しかし無許可の BBQ 事業者複数社が場所を確保し徹夜で場所取りをして営業しており、発生したごみは公園側で処理するという問題が生じました。一般市民から業者の場所取りが多すぎるため、公平性に欠けるとのクレームにもいただきました。また一般の利用者においても火がついたままのバーベキューセットをそのまま放置し帰宅する方も頻繁にみられましたが、巡回にて見つけ次第消火を行い火災には至りませんでした。対応としては場所取り可能な時間帯や 1 人当たりの場所取り可能面積に関するルールの設定、その他利用者のマナー向上に関する案内の明示、巡回による利用者への啓発の強化を実施しました。

平成 30 年春の BBQ については、こうした課題を解決するため、試験的に 3 月より全面有料での運営を開始いたしました。

光熱水使用実績

年間の光熱水（電気・水道・ガス）使用量について電気使用量に関しては、JO-TERRACE OSAKA、MIRAIZA OSAKA-JO のオープンや天守閣への来場者の増加に伴い、使用量が大幅

に増加しました。（平成 28 年度：3,715 Mwh、平成 29 年度：6,007 Mwh）園路灯・天守閣の LED 化を順次進めており、引続き電気使用量の削減に努めて参ります。水道使用量に関しては漏水箇所の止水・迅速な修繕の実施により使用量の削減に努めましたが、JO-TERRACE OSAKA、MIRAIZA OSAKA-JO のオープンや、天守閣への来場者の増加に伴い、使用量が大幅に増加しました。（平成 28 年度：104,253 m³、平成 29 年度：134,171 m³）8,9 月の水道使用量につきましては、前年と同様に太陽の広場でのウォーターパークの開催の為、他の月と比較して大幅に増加しています。

修繕実績

点検等の結果、異常を発見した施設及び設備については危険箇所の啓発を行うとともに、簡易な補修・修繕は内製化することにより迅速な復旧に努めました。作業の実施にあたっては、危険防止のための作業エリアをバリケード等で囲い、公園利用者及び作業員の安全対策を講じた結果、今年度も人為・人身事故なく一年間を過ごすことができました。

廃棄物実績

来園者の増加、JO-TERRACE OSAKA や MIRAIZA OSAKA-JO のオープンに伴い、全体のごみの量が増加しています。また、来園者の増加による影響や花見などの持込ごみの置き去りが引き続き多数発生しており、公園利用者への注意喚起を通じてマナー向上・ごみ持ち帰りの呼び掛けに取り組みました。また、ごみの量に比例して処分費用も増加しているため、運営コストの削減を目的として平成 30 年度より収集運搬・処分業者を変更する予定です。

要望・苦情一覧

平成 29 年度は年間を通じて 153 件の問い合わせや要望・苦情を頂戴しました（資料 5）。公園利用者、市民等からの頂いた要望・苦情に対しては誠意を持って対応し、措置が必要なものに対しては原因究明と不具合解消に向けて取り組みました。

車両通行許可

平成 29 年度は園内の車両通行許可書を 7,483 台分発行いたしました。通行許可にあたっては園内規制速度(20 k m)や重量基準(積荷と合わせて 8 t 以下)などを順守し、園内の安全確保に努めるよう指導しました。

占用許可の窓口としての対応業務

占用許可の対応窓口としてイベントの日程調整や安全管理等を主催者側と打合せを行いました。

行為許可

平成 29 年年度の行為許可実績は 761 件 5,161,911 円となりました。

課題や今後の取り組みについて

課題としては来園者の増加によるゴミの放置や濠への浮遊による景観への影響、施設の新規開業による搬入車両の増加に伴う安全上のリスク増加などがありました。これらに対し、濠清掃の定期的な実施や搬入車両を管理するテナントへの定期的な注意喚起などを今後行っていきたいと考えております。

1 3. 緑地管理 平成29年度の報告書

来園者に対し、気持ち良く安全な公園の緑・草花景観を提供するために大阪城公園事務所様と適宜打合せを行い、経験、知恵を頂きながら緑地管理を計画し、その都度現場の作業を行いました。また、石垣、濠など大阪城公園特有の施設に対し格別の注意を払い管理を行いました。さらに、剪定枝、落ち葉、刈り草などの植物ごみを園内処理する目的で、昨年度に行ったテストを実現させ、植物残材を活性堆肥として草押さえ、水分保持などに利用しました。

事業計画に対して

(1) 留意事項

- ① 実施に当たり、関係法令等を遵守するとともに、年間・月間維持管理計画を作成し、大阪市の承認を得たうえで、適切な時期・方法により行いました。
- ② 業務の実施にあたり来園者の安全を確保するため、日々の管理業務と併せて土・日・祝日を含めた園内巡視・日常点検を行い、樹木や植栽の枯損、枯枝などの不具合等を発見した場合、適切かつ迅速に対応し、適正な公園利用、維持管理、安全対策に反映させました。
- ③ 作業にあたっては、危険防止の為作業エリアをカラーコーン、バリケード等で囲い、「作業中・立入禁止」であることを明示し、必要に応じ交通整理員・見張り員・誘導員等を配置し安全対策につとめました。またやむを得ず通行止めや通行規制等を行う場合は、事前に協議し来園者・公園利用者の安全対策を講じました。
- ④ 園内で事故が発生した場合は、速やかに対応・処理・拡大防止を行うとともにその状況等を大阪市及び関係機関に連絡・報告致しました。
- ⑤ 剪定枝葉等の運搬にあたっては、飛散防止対策を講ずると共に過積載防止を遵守し関係法令の定めに従いました。
園内管理車両は公園利用者に十分注意し、最徐行にて走行しました。
- ⑥ 29年度は樹木管理においては修景・景観に配慮し必要に応じて植栽や更新を行うことが出来ず、30年度は大阪市公園事務所様と協議の上、魅力向上スポットとなるような植栽を行いたいと考えます。
- ⑦ 管理対象植物の台帳管理を行いました。また植栽により増数、撤去により減数が発生した場合は台帳更新を行い、別表で管理しました。

- ⑧ 樹木管理に当たっては常に公園内の見通しを確保し、事故や犯罪等の発生の抑制に努めました。
- ⑨ 枯損木、危険木、枯枝、掛かり枝の早期発見に努め、迅速かつ適切に除去して枝等の落下事故等の発生予防に努めました。また回収、運搬の際には積荷の飛散防止、荷台からはみだした枝などによる事故などの発生予防に努めました。
- ⑩ 当該公園に植栽された植物の特性を踏まえ、植物の良好な生育に必要な作業を、最も適切な時期に適切な方法で細心の注意をもって作業にあたりました。
- ⑪ 農薬管理台帳を作成しました。公園内保管は行っておりません。必要になった場合、その都度持参し、使用後の残りは持帰りました。
- ⑫ 除草剤は使用しておりません。その他殺虫剤等の農薬使用に際しては、飛散範囲や散布後の効能期間、公園利用者等の健康面（アレルギー等）にも十分配慮して作業を行いました。
- ⑬ 植物の処理については、所定の場所に集積しました。廃棄物の処理及び清掃に関する法律など、関係法令を遵守し、適切に保管・処分を行いました。なお、剪定枝等の処分について、29年度は、公園管理者(大阪市)と協議のうえチップ(活性堆肥)化や堆肥へのリサイクルなど、環境に配慮した処分に努めました。

（２）管理の水準

①剪定（高木）

- ・ 樹種特性や樹勢に応じて剪定の必要性や度合いを見極め、最も適切な時期と方法で行いました。
- ・ 公園樹木の剪定は、自然樹形仕上げを基準とし、骨格枝を更新するなどの方法を活用して樹形を維持しました。特に本丸部分では、今の状態では天守閣が見難く、写真撮影がしにくい。ビューポイントを作ってほしいなど市民の強い要望が有りましたので、少し強めの剪定を行いました。
- ・ ウメ、モモ、アジサイ、フジなど花木類の剪定は、花芽の分化時期や着蕾位置に注意して行いました。
- ・ 枯枝や混みあった枝等の枝抜き（間引き）作業などを適切に行いました。
- ・ 並木等、園路や広場など利用が多い場所は、とくに枝の落下等の危険性を除去するとともに、景観面に配慮し、枯枝及び枝抜きなどを適切に行いました。
- ・ 高所作業の災害発生を防止するため、必要な安全対策を講じ、作業を行いました。

②刈り込み（中低木）

- ・密生箇所を刈り透かし、刈地原形を考慮しつつ、年間を通して美観を損ねないよう適切に刈り込みました。
- ・美観を維持する為、主幹園路や濠沿いの刈り込みは連続性をもった景観保持に留意し、エリアごとに完成させてから、次のエリアに移りました。
- ・道路際や園路際で通行障害となる箇所及び施設等と隣接地においては、安全等に配慮し、刈り込みを適宜行いました。
- ・生垣は適切な時期に樹形の整正を行うための刈り込みを行いました。
- ・花木類を刈りこむ場合は、花芽の分化時期と着蕾位置に注意して行い、開花させることができました。
- ・刈り込みの際は、植栽地内及び周辺の除草も併せて行い、ヤブガラシなどツル性の雑草については、出来る限り根から抜き取り除去しました。

③枯木撤去

- ・枯木の有無を日常的に点検し、早期発見と撤去に努め、倒木による事故等を未然に防ぎました。また作業にあたっては安全な作業領域を十分に確保し、事故等を未然に防止しました。
- ・樹木撤去については、原則抜根しております。抜根にあたっては、周辺の舗装、縁石等を損傷しないよう十分注意しました。
- ・抜根時に周辺の文化財等の施設に多大な影響があると判断される場合には、地上部のみを撤去としました。その場合、根切りチェーンソー等を使用するなど、根と施設間の縁切り等を実施しました。
- ・根または幹の一部を存置する場合は、事故が生じないよう適宜対策を講じました。
大阪市指導により危険の無い様、切り株を膝丈で残しテープを巻きました。

④障害枝等剪定

- ・来園者や管理車両の通行等の障害となる枝や、枝折れによって落下するなど、事故につながるおそれのある枝は切除し、来園者等の安全確保に努めました。
- ・枯枝の有無を日常的に点検し、早期発見と除去に努め、落枝による事故等を未然に防ぎました。

⑤病虫害防除

- ・農薬使用にあたっては、農薬取締法等の関係法令やメーカーの使用安全基準を遵守するとともに、使用を最小限にとどめるように努めました。
- ・農薬は使用時持参し、使用后持帰り保管することを徹底し、大阪城公園内に保管することはありませんでした。

- ・散布に際しては、「公園・街路樹等の病虫害・雑草管理マニュアル（環境省水・大気環境局 平成 22 年 5 月）」等を遵守するとともに、散布にかかる事前・事後の周知方法及び期間については、事前に大阪市の承諾を得ました。
- ・害虫発生の早期発見に努め、極力、農薬を使用しない方法（剪定防除、捕殺、巣網剪除等）により防除を行いました。使用する場合は、事前事後の告知等により来園者に周知の上、安全衛生対策を実施しました。
- ・病気発生の早期発見に努め、原因に応じた農薬を使用して早期に改善しました。なお、松枯病、PPV 等の発生時には被害の拡大を防止する為の処置を迅速に行うこととしておりました。今現在上記緊急性を要する事項は、確認されていません。
- ・28 年度にカシノナガキクイムシが発生し、対応したため、今年度は防除として発生樹木(シラカシ、マテバシイ)に対しカシナガホイホイ取り付けの対応を取り対象樹木の枯死を防ぐ事が出来ました。

⑥灌水

- ・花壇、地被植物、芝生、花木、植栽樹等が枯損しないよう適宜灌水を行いました。

⑦施肥

- ・施肥を行う際は、樹木特性や肥料の目的（寒肥、追肥等）を考慮し、最も効果的な時期、方法で行いました。

⑧その他

- ・不要になった支柱及び添木は速やかに撤去しました。
- ・支柱等の結束に使用する針金等は、端部処理及び保護を適切に行いました。
- ・損傷、老朽した支柱や結束材は適宜交換・補修を行いました。また必要がなくなったものは撤去致しました。

⑨ウメ、モモの管理

- ・花後、早咲きから遅咲きの品種に合わせて翌年の開花に影響を与えないよう速やかに剪定を行いました。また樹形維持のために枝等の更新を行いました。
- ・花後の剪定以降、成長に合わせて芽摘みを行い、小枝の展開と充実を図りました。
- ・開花前に整枝剪定を行い、樹形を整えました。
- ・梅林、桃園の管理については、とくに留意しました。
- ・PPV の感染予防として大阪城公園梅林、桃園専用の剪定鋏、ノコギリを使用し、前後にはアルコール消毒を行いました。また、その道具を誰が何時使用したかトレーサビリティ出来るよう台帳管理を行いました。

⑩マツの管理

- ・樹木全体や枝ごとの樹形及び樹勢を考慮して、適切な時期にもみ上げを行いました。
- ・前年の葉や方向の悪い新芽を取り除き、樹木全体の風通しと日当たりを良くし樹形を整える為「葉刈り」を行いました。景観管理上、年末までに行いました。

⑪芝生管理

- ・刈り残しやムラが無いよう均一に刈り込み、除草は原則手抜き除草とし丁寧に抜き取りました。
- ・育成の為、エアレーション、目土散布、灌水、施肥等の作業を適切に行いました。
- ・西の丸庭園及び大阪城野球場の芝生管理は、年間を通して常に良好な状態を保つため、芝生の生育状況を把握し、芝刈り、病虫害防除、灌水、施肥、目土等を必要に応じて行いました。また芝刈りは、樹木、施設などに損傷を与えないよう注意し、刈り残しやムラの無いよう均一に刈り込みました。縁切りは、隣接植栽帯に「ほふく茎」が進入しないよう切り込みました。

⑫地被管理

- ・植樹帯等にある地被については、ごみ、雑草、落ち葉等の堆積に留意し、適正に管理しました。また、枯等により景観を損ねた場合は補植しますが 29 年度に補植は有りませんでした。
- ・適宜、灌水、施肥等の必要な作業を実施しましたが、8 月の高温及び降雨不足により枯死した地被(シバザクラ)が存在しました。

⑬花壇管理

- ・園内の路地花壇、プランター等は常に美しく鑑賞できるよう年間計画書を作成し、当該計画書に基づき植替えを行いました。
- ・適宜、中耕除草、花がら摘み、灌水、施肥等の必要な作業を実施し、草花の良好な状態を維持しました。

⑭野球場・太陽の広場等の整備

- ・野球場や太陽の広場等のメンテナンス作業を行う場合は、事前に利用状況等を確認し、年間のメンテナンス計画を作成して作業を行います。作業の実施にあたっては、施設利用者に広報を通じて周知しました。
- ・運動施設の機能性や安全性、快適性に配慮し、常に良好な状態を維持するよう努めました。
- ・必要に応じて、土入れ、不陸整正、集積枿清掃などを行いました。

⑮濠及び流れ等（自然形態の水景施設）の水面清掃

- ・濠の水面の環境保全、美観や景観保持のため、全域の藻や浮草、浮遊ゴミ等の状況を点検し、ボート等の機材を活用して、除去作業を年3回（春・夏・秋）を基本に実施します。また、藻や浮草の繁茂や浮遊ゴミの状況に応じて、適宜、全域あるいはエリア別に同様の作業を行いました。特に6月、7月の藻が発生する手前で駆除することで大量発生を防ぐことができました。
- ・濠に面して陸地等から除去が可能な藻や浮草、浮遊ゴミについては日常的に除去作業を行いました。
- ・流れ等は、藻や浮草、浮遊ゴミの除去を中心に清掃を行いました。
- ・水質浄化装置(テスト)により、本丸日本庭園の水質浄化を行い、大阪市様にテスト結果の報告を行いました。

⑯空濠清掃

- ・空濠の環境保全、美観や景観保持のため、全面、冬季に年1回、石垣に付着するつる草、雑草や雑木、ゴミ等の除去を行います。また、雑草等の繁茂状況やごみの状況に応じて、適宜、全面あるいはエリア別に同様の作業を行いました。更に、空濠底面の除草後園地管理で出た植栽ごみをチップ化、活性堆肥にしたものを敷き均し、草押さえを行った。

⑰石垣清掃

- ・石垣の環境保全、美観や景観保持のため、全面、冬季に年1回石垣の間から発育する雑木や雑草、石垣に付着するつる草、ゴミ等の除去作業を行いました。また雑木等の繁茂状況やゴミ等の発生状況に応じて、適宜、同様の作業を行いました。
- ・石垣清掃実施時には、併せて空濠、濠の水面清掃を実施しました。
- ・石垣等の清掃にあたっては、作業員の安全対策を講じました。
- ・石垣等の汚損、落書き等については、発見次第、大阪市に報告の上指示に従い適切に除去等の処理を行いました。
- ・トライアスロンの開催に伴い、5月下旬、6月上旬に会場の東外濠及び内濠の石垣清掃を行いました。
- ・各種ボランティア（3月自衛隊）の協力も頂き石垣の清掃等を行いました。

⑱公園の魅力向上

- ・JO-TERRACE OSAKA 及び MIRAIZA OSAKA-JO のオープンに合わせ、景観向上を狙い、来園者にペDESTリアンデッキから、また桜門入り口、本丸エリアから天守閣を見て頂きやすいように、枝を程よく透かす形で樹木の剪定を行いました。

⑭課題や今後の取り組みについて

平成 29 年度は新たな施設開業に伴い、芝生地や植栽帯なども新たに設けられ植栽管理の重要性が高まってまいりました。また、園地管理で出た植栽ゴミをチップ化して空堀の草押さえ等に利用するリサイクル化への取り組みも始めました。今後も引き続き灌水や施肥等の必要な作業を実施し、適正な緑地管理に努めていくとともにリサイクルへの取り組みを継続していきたいと思います。

1 4. 魅力向上事業について

【1】 既存建築物の保存活用について

旧第四師団司令部庁舎改修整備について

施設愛称を「MIRAIZA OSAKA-JO」（ミライザ大阪城）として平成 29 年 10 月 19 日に開業しました。1 階には土産物を中心とした物販店やカフェ等のほかに「特別史跡大坂城跡」の魅力をお伝えする展示室、多言語対応のできるインフォメーションや様々な情報をお伝えするデジタルサイネージも設置いたしました。2、3 階は個人でのお食事やカフェとしてご利用や団体でのご利用にも対応するレストラン、屋上は季節限定でバーベキューのできるテラス・レストランとして整備いたしました。開業後は多くの方にご利用いただいております、本丸内への来園者の方々の便益性が向上いたしました。

大阪迎賓館の活用について

平成 28 年 5 月より開業し、100 席程度の規模で団体向けの予約専用レストランとして前年度に引き続き運営いたしました。平成 29 年度のご利用は前年度比で 2 倍以上となり、3 月末までで 377 組、20062 名となりました。

音楽堂管理事務所（もと音楽団事務所）の活用について

引き続き、1F を大阪城パークセンターとして公園管理のための事務所として運営しております。来園者の利便性向上のため、12 月 29 日～1 月 3 日を除く祝祭日も運営し、運営時間は全日 9：00～17：30 としております。2F の活用については引き続き検討中ですが、ミーティングルームを練習場として利用者への貸し出しを行いました。

売店リニューアル

前年度整備した 8 ヶ所の「パークローソン」を平成 29 年度も引き続き運営いたしました。年中無休で来園者の方々の便益性に寄与するとともに前年度に新設した森ノ宮店前の芝生は来園者が憩いの場所としてくつろぐ姿も多くみられました。

【2】 大阪城公園駅前整備

平成 29 年 6 月 22 日に施設愛称を「JO-TERRACE OSAKA」として飲食施設やランナーのための便益施設など 20 店を開業しました。また、12 月 15 日には団体での食事にも対応できるレストランとして「キャッスルガーデン OSAKA」が開業しました。ペDESTリアンデッキと施設内のエレベーターを利用して大阪城公園駅から階段を利用することなくアクセスできるようになりました。大阪

城ホールや太陽の広場でのイベント時には多くの方で賑わい、平常時も来園者の憩いの場所としてご利用いただきました。

【3】 回遊性の向上事業（園内交通システム）

来園者の周遊性向上の為に運行しているロードトレインとエレクトリックカーによる園内交通システムも事業開始から2年目となり、増便等の効果や認知度の向上からご利用者数は大きく伸びてまいりました。しかしながら、園内は来園者も年々増加しており、ランナーや歩行者、自転車などとの安全管理の徹底や海外からの観光客を含む多くのご利用者に対しての接遇の向上などもこれまで以上に重要となつてまいりました。引き続き、安全第一での運行を徹底しつつ多くのご利用者の利便性に寄与する運行を行ってまいります。

【4】 各種イベントの実施

大阪城公園の魅力向上のための賑わいづくり事業として各種イベントを行いました。

- ・西の丸庭園：観桜ナイト2017（4/1～4/16）

集客数 76,037人

- ・西の丸庭園：フェイスペイント（4/1～4/16※内、営業日13日間）

参加者 144人

- ・城南エリア：桜のグルメ茶屋（4/1～4/16）

- ・修道館前：大阪城風鈴まつり（4/26～4/30）

- ・森ノ宮口：植木市のグルメ茶屋（4/1～5/7）

- ・城南、青屋門、東外濠、大阪城ホール前：露天営業（4/1～）

- ・西の丸庭園：「黄金の茶室」展示及びフォトサービス事業（4/1～3/31）

利用者 1,157件

- ・西の丸庭園：櫓特別公開（4/1～11/26、3/3～3/31 土日祝日限定 桜の時期と夏休みは連日公開）

集客数：128,891人

- ・西の丸庭園他：大阪城リアル謎解きゲーム（4/28～8/31・10/21～3/31）

参加者 12,246人

- ・天守閣前広場：ケータリングカー（4/1～10/18）

- ・ 天守閣前広場：フォトサービス（4/1～）
利用者：12,800人
- ・ 天守閣前広場：大阪城ファミリーフェスティバル（5/3～5/5）
参加者：約5,000人（3日間合計）
- ・ 本丸広場：天下統一お茶飲み比べ（5/4）
- ・ 太陽の広場：餃子フェスOSAKA（5/3～5/7）
集客数 200,000人
- ・ 西の丸庭園：国際ヨガDAY応援ヨガイベント（6/11）
参加者 200人
- ・ 森ノ宮口：納涼グルメ茶屋（7/15～9/24）
- ・ 天守閣前広場：豊国踊り（8/12）
参加者： 約600人
- ・ 西の丸庭園：大阪城ナイトYOGA（8/26）
参加者 48人
- ・ 西の丸庭園：レキシコンサート（10/1）
集客数 11,431人
- ・ 森ノ宮口：植木市のグルメ茶屋（10/1～11/5）
- ・ 大阪城公園駅前広場：クラフトビアホリデー（10/6～10/9）
集客数： 17,460人
- ・ 大阪城公園駅前広場：森ちゃんのラーメンフェスタ（11/10～10/12, 10/17～10/19）
集客数： 54,000人
- ・ 西の丸庭園：大阪城イルミネーション（11/22～2/25）
集客数 102,759人
- ・ 森ノ宮口：クリスマスのグルメ茶屋（11/23～12/28）
- ・ 天守閣前広場：「幕末150年フェスティバル」（11/3～11/4）
参加者： 3,900人（2日間合計）
- ・ 天守閣広場：天守閣迎春イベント（1/2～1/3）
参加者：18,935人（2日間合計）
- ・ 森ノ宮口：寒梅グルメ茶屋（1/3～3/21）

- ・豊国神社前：春のグルメ茶屋（1/3～3/31）
- ・学芸員とめぐる慶喜の大坂城脱出ツアー（2/24）

参加者：50人

- ・森ノ宮口：植木市のグルメ茶屋（3/22～3/31）
- ・西の丸庭園：SAKURA YOGA（3/25）

参加者 561人

- ・西の丸庭園：観桜ナイトー2018（3/24～3/31）

集客数 65,590人

- ・城南エリア：桜のグルメ村（3/31）